

大学・短大名	担当教員名
東北医科薬科大学	太田 伸男

学部・学科名	授業科目名	開講学期	開講期間(実施回数)	開講曜日	開講時間	受入人数	受講者集合場所 (開催場所)	※1	※2
								受講方法	受講料
医学部・医学科	アレルギーとは？	前期	8月1日(1回)	土	13:30~14:30	90	東北医科薬科大学 福室キャンパス	①対面のみ	不要(無料)

受講対象	※1 受講方法「オンライン」の場合のウェブ会議ツールの名称等	※2 受講料「必要」の場合の具体的内容
高校生		

授業の目標等	
アレルギーにはどのような疾患があり、その原因と仕組みについて理解を深める。アレルギーを克服するために必要な知識を整理しステップについて罹患すること。	
授業内容・計画等	
パワーポイントスライドを用いてアレルギーに関する講義を行う。	
参加上の注意(準備物、テキスト、参考書など)	高校生へのメッセージ等
特にありません。	アレルギーとはどういう病気のことを指すのか、アレルギーにはどのような疾患が含まれるのか解説します。 日本は先進国の中でもアレルギー対策に非常に力を入れており、病態研究、創薬研究、患者さんの医療費負担などに予算が割り当てられています。まだまだアレルギーで苦しむ患者さんが多く、その数は増え続けています。更なる研究の促進や患者さんへの支援が必要な状況にあることを知っていただきたいと思います。

大学・短大名	担当教員名
東北医科薬科大学	木皿 重樹

学部・学科名	授業科目名	開講学期	開講期間(実施回数)	開講曜日	開講時間	受入人数	受講者集合場所 (開催場所)	※1 受講方法	※2 受講料
薬学部・薬学科	医療薬学	前期	8月1日(1回)	土	13:30~14:30	90	東北医科薬科大学 小松島キャンパス	①対面のみ	不要(無料)

受講対象	※1 受講方法「オンライン」の場合のウェブ会議ツールの名称等	※2 受講料「必要」の場合の具体的内容
高校生		

授業の目標等

がん化学療法の基本を理解し、抗がん薬の副作用やその対処法、日常生活での注意点について学びます。また、薬剤師の役割を理解するとともに、医療スタッフとの連携を通じて、がん治療を支えるチーム医療の重要性について理解を深めます。

授業内容・計画等

本講義では、がん化学療法の基本的な考え方と近年の抗がん薬の進歩について概説します。あわせて、抗がん薬に伴う副作用の種類や発現時期、その特徴について、具体例を交えながらわかりやすく説明します。さらに、吐き気や感染症など主な副作用への対処法や、治療中の日常生活における注意点についても取り上げ、患者さんが安心してがん治療と向き合うために必要な知識を紹介します。加えて、がん治療において薬剤師が果たす役割や、医師・看護師などの医療スタッフと連携しながら患者さんを支える体制についても解説し、チーム医療の重要性への理解を深めます。

参加上の注意(準備物、テキスト、参考書など)

特にありません。

高校生へのメッセージ等

抗がん薬治療は難しそうに感じるかもしれませんが、本講義を通して、治療や副作用、またチーム医療について理解し、人の命を支える薬剤師という仕事に興味を持っていただければ幸いです。

大学・短大名	担当教員名
東北医科薬科大学	徳永 英樹

学部・学科名	授業科目名	開講学期	開講期間(実施回数)	開講曜日	開講時間	受入人数	受講者集合場所 (開催場所)	※1	※2
								受講方法	受講料
医学部・医学科	予防ができる女性の がん	前期	8月2日(1回)	日	13:30~14:30	90	東北医科薬科大学 福室キャンパス	①対面のみ	不要(無料)

受講対象	※1 受講方法「オンライン」の場合のウェブ会議ツールの名称等	※2 受講料「必要」の場合の具体的内容
高校生		

授業の目標等

がんの一部には感染症や遺伝情報が発癌に深く関わるものがあります。女性特有のがんについての理解と、自分自身や家族、将来のパートナーの健康を守るための知識と方法について学びます。

授業内容・計画等

パワーポイント資料を用いて授業を行う。

参加上の注意(準備物、テキスト、参考書など)

特にありません。

高校生へのメッセージ等

SNSなどを通じて様々な情報に接することができる時代ですが、正しい医学的知識を取得する手段を知ってください。

大学・短大名	担当教員名
東北医科薬科大学	川上 準子

学部・学科名	授業科目名	開講学期	開講期間(実施回数)	開講曜日	開講時間	受入人数	受講者集合場所 (開催場所)	※1 受講方法	※2 受講料
薬学部・薬学科	抗菌薬の副作用予測と人工知能	前期	8月2日(1回)	日	13:30~14:30	90	東北医科薬科大学 小松島キャンパス	①対面のみ	不要(無料)

受講対象	※1 受講方法「オンライン」の場合のウェブ会議ツールの名称等	※2 受講料「必要」の場合の具体的内容
高校生		

授業の目標等

抗菌薬の副作用をテーマに、薬が体の中でどのように働き、副作用が生じるのかを解説します。医薬品の添付文書情報をもとに人工知能で薬の特徴を整理し、自己組織化マップを用いたWebツールを操作します。副作用ごとの薬剤の配置や出やすさを視覚的に把握することで、薬学と人工知能の関わりについて理解を深めます。

授業内容・計画等

パワーポイント資料を用いて、抗菌薬の副作用や薬の働きについて解説します。また、医薬品の添付文書情報をもとに人工知能で薬の特徴を整理する方法を紹介し、自己組織化マップを用いたWebツールを操作して、副作用ごとの薬剤の配置や副作用の出やすさを視覚的に体験します。

参加上の注意(準備物、テキスト、参考書など)

特にありません。

高校生へのメッセージ等

薬は病気を治すだけでなく、安全に使うことがとても重要です。本講義では、身近な抗菌薬を例に、薬の働きや副作用、そして人工知能を活用した新しい医療の形を体験的に学びます。医療や薬学に興味がある人はもちろん、人工知能に関心のある人にも、将来を考えるきっかけになればうれしいです。